

JSQC規格の開発・制定に関する提案書（案）

規格の名称	プロセス保証とリスクマネジメントを統合し より効果的な取り組みにするための指針
規格の種類	○ 1. 規格 (JSQC-Std) 2. テクニカルレポート (JSQC-TR)
規格の適用範囲	総合的品質管理 (TQM) の一貫として、組織において行うことが必要なリスクマネジメントの方法
規格の利用者	TQMを実践する組織、および組織のTQMを評価・診断する人
制定のねらい	<ul style="list-style-type: none"> プロセス保証は「プロセスのアウトプットが要求される基準を満たすことを確実にする一連の活動」(JSQC-Std 00-001:2023)である。他方、リスクマネジメントは「目的に対する不確かさの影響(リスク)について、組織を指揮統制するための調整された活動」である(ISO 31000)。リスクを生み出す起因事象の発生を防ぐ活動に加え、起因事象が万一発生した場合にも重大な問題に発展しないよう準備しておく活動(クライシスマネジメント)も含む。 日本は、1950年代から欧米から品質管理の考え方・方法を導入し、実践を通してTQC(後のTQM)へと進化・発展させてきた。また、そのような中、「工程で品質をつくり込む」という考え方が組織・社会に浸透し、プロセスにおいて起こりそうな問題を予測し、予め対策を講じるための具体的な活動やそのための手法が生み出されてきた。 他方、21世紀に入る頃から企業の社会的責任(CSR)の要求が高まり、地球環境保全、コンプライアンス、社会貢献などが従来に増して求められるようになった。また、阪神淡路大震災(1995)を契機として、TR Z001:1996「危機管理システム」が開発され、これをベースにJIS Q 2001:2001「リスクマネジメントシステム構築のための指針」が制定された。さらに、あらゆる種類のリスクに対する共通の取り組み方を示したISO 31000:2009「リスクマネジメントー指針」(2018年に改訂)やISO 22301:2019「セキュリティ及びレジリエンスー事業継続マネジメントシステムー要求事項」が国際規格として制定されている。 しかし、JSQC-TR 12-001:2023「テクニカルレポート品質不正防止」にも示されているように、多くの組織において、リスクマネジメントが適切に機能していない実態が見られる。 本規格では、プロセス保証において不可欠な要素であるリスクマネジメントの進め方に関する推奨事項を定める。リスク生み出すものとしては、自然災害などの外部からもたらされるものもあるが、活動・作業(プロセス)において起こり得る問題に焦点を当てる。したがって、自然災害等の外部からもたらされる問題のリスクの評価・対応よりも、それらのリスクの対応において生じる可能性のある人の不適切な行動や設備の故障などの予測と対策に力点を置く。 本規格は、JSQC-Std 62-001:202X「RCA(根本原因分析)の指針」とセットで活用させることを意図している。本規格に沿ってリスクマネジメントに取り組み、その不十分な点をRCAによって明確にし改善するというのが基本的な使い方である。これによって、顧客・社会が求めるパフォーマンス(品質、安全、生産性など)を確実に保証することができる。

制定によって期待される効果	社会において効果的なリスクマネジメントが行われるようになる。多くの企業・組織が、プロセスにおいて起こり得る問題（人の不適切な行動、設備の故障など）の発生を防ぐ活動、これらが重大な問題に発展しないようにする活動に積極的に取り組むようになり、事故、品質トラブル、品質不祥事を防止できる。
制定によって影響を受けると思われる組織・人	(1) TQMを実践している組織 (2) ISO31000に基づく運用をしている組織 (3) 安全・安心の確保が重要となる社会インフラを支える組織
制定までのおおよそのスケジュール	(1) 2025年9月末 原案の作成 (2) 2025年10月～2025年12月 審議委員会による審議とパブコメの募集 (3) 2026年1月 規格の発行
原案作成にあたっての参考資料	(1) 日本品質管理学会編（2009）：新版品質保証ガイドブック、日科技連出版社 (2) JSQC-Std 21-001 プロセス保証の指針 (3) JSQC-TR 12-001 テクニカルレポート品質不正防止 (4) JSQC-Std 62-001 RCA（根本原因分析）の指針 (5) JIS Q 2001、JIS Q 31000、JIS Q 22301 (6) 会社法、金融商品取引法（J-SOX法） (7) 指田朝久（2022）：リスクマネジメントと危機管理ガイドブック、東京海上ディーアール (8) 勝俣良介（2022）：なぜリスクマネジメントは組織を救うのか、ダイヤモンド社
提案委員会・研究会・部会名	日本品質管理学会 標準委員会 (プロセス保証とリスクマネジメントを統合しより効果的な取り組みにするための指針原案作成WGを設ける)